PRIMERGY

B7FY-0831-01

取扱説明書

RS-232Cカード
(GP5-162)

FUJITSU

はじめに

このたびは、弊社の GP5-162 カード（RS-232C カード）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本アダプタは、米国 Digi International 社の「Digi AccelePort 8r 920-PCI」と同等の製品です。
本書では、ドライバソフトウェアは、Microsoft 社の Microsoft® Windows NT®（以降 Windows NT と略す）用を「Windows NT デバイスドライバ」、Microsoft® Windows® 2000（以降 Windows 2000 と略す）用を「Windows 2000 デバイスドライバ」、Novell 社の NetWare®, IntranetWare™ （以降 NetWare と略す）用を「Novell NetWare AIO デバイスドライバ」と記載します。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

２００３年　1月

当社のドキュメントには『外国為替および外国貿易管理法』に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要になります。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づく第一種情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

Digi AccelePort 8r 920-PCI は、米国 Digi International Inc.の商標です。
Novell,NetWare は、米国 Novell Inc.の登録商標です。
IntranetWare,GroupWise 及び NDS(Novell Directory Services)は、米国 Novell Inc の米国における商標です。
Microsoft,Windows,MS,MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

All Rights Reseved,Copyright© 富士通株式会社 1998-2003

梱包物を確認してください

お使いになる前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。
万一足りないものがございましたら、おそれいりますが、お買い上げの販売店または最寄りの弊社保守サービスセンターまでお申し付けください。

●RS-232C カード（GP5-162）
●コネクタ BOX
●RS-232C ドライバ（3.5 インチフロッピィディスク）3 枚
　－『GP5-162 Driver （Windows NT®） Disk 1』
　－『GP5-162 Driver （NetWare®） Disk 2』
　－『GP5-162 Driver （WWindows® 2000）Disk 3』
●開封契約書
●取扱説明書（本書）

安全上のご注意

本カードを安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書ではいろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

⚠警告 ：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 ：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

本文中の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

《注意》

ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。

目次

第１章　GP5-162 カードについて 1
1.1 概要 1
1.2 使用上のご注意 2

第２章　ハードウェアのセットアップ 3
2.1 GP5-162 カードの取り付け 3
2.2 GP5-162 カードの設定 3

第３章　WINDOWS NT 4
3.1 概要 4
サポート OS 4
3.2 インストレーション 5
ハードウェアのインストール 5
ソフトウェアのインストール 5
3.3 シリアルポートの設定 6
3.4 アプリケーションの開発 6
3.5 リモートアクセスサービス(RAS)の設定 6
インストール 6
ポートの追加 7
ポートの構成 7
ネットワークの構成 7

第４章　NOVELL NETWARE 8
4.1 概要 8
サポート OS 8
4.2 インストレーション 9
ハードウェアのインストール 9
ファイルのコピー 9
4.3 ドライバのロード 10

第５章　WINDOWS 2000 11
5.1 概要 11
サポート OS 11
5.2 インストレーション 12
ハードウェアのインストール 12
ソフトウェアのインストール 12
5.3 ドライバソフトウェアの削除 13
5.4 ポート特性の変更 14
設定例 14
5.5 シリアルポートの設定 14
5.6 アプリケーションの開発 15
5.7 リモートアクセスの設定 15
リモートアクセスサーバの構成 15

付録 A トラブルシューティング 17

GP5-162 に関する注意事項 17
WINDOWS NT 18
エラーメッセージおよび障害 *18*
NOVELL NETWARE 20
エラーメッセージ *21*
付録 B カードのテスト 23

第１章　GP5-162 カードについて

1.1 概要

GP5-162 カードは、PCI プラットフォームに 8 ポートの超高速マルチシリアルポートを提供する高性能 RS-232C 拡張アダプタです。アダプタ上にプロセッサと RAM を搭載し、標準シリアルポートより高速なデータ通信を実現しながら、CPU 負荷を軽減します。

本アダプタは、1 枚のカードで RS-232C を８ポートサポートしております。１ポートあたり最大 230.4Kbps の転送レートをサポートしており、TA（ISDN ターミナルアダプタ）を用いた MP 接続でも、快適な接続環境を提供します。

《注意》

本アダプタの最大搭載枚数は、ＯＳ、機種によって異なります。
詳細は、各サーバの「取扱説明書」をお読み下さい。

ドライバソフトウェアは、Microsoft 社の Microsoft® Windows NT®（以降 Windows NT と略す）、Microsoft® Windows® 2000（以降 Windows 2000 と略す）および Novell 社の NetWare®, IntranetWare™ （以降 NetWare と略す）をサポートしております。

1.2 使用上のご注意

⚠警告

■本アダプタを勝手に改造しないでください。火災・感電の原因となります。
■近くで雷が発生したときは、サーバ本体の電源コードや本アダプタの外部接続ケーブルを抜いて下さい。そのまま使用すると、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

⚠注意

■アダプタは、精密に作られていますので、高温・低温・多湿・直射日光など極端な条件での使用・保管は避けてください。また、アダプタを（曲げたり、）傷つけたり、強いショックを与えないでください。故障・火災の原因となることがあります。
■ご使用にならない場合は、静電気防止のため付属の袋に入れて保管して下さい。
■機器を移動する場合は、必ず本体の電源プラグ、および本アダプタの外部接続コードを外してください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因となったり、機器の落下や転倒によるけがの原因となることがあります。

第２章　ハードウェアのセットアップ

2.1 GP5-162 カードの取り付け

１．本アダプタをパッケージから出し、帯電防止袋から注意深く取り出します。
　　ボックスも同様にパッケージから取り出します。

２．コンピュータの電源を落とし、本体のカバーを外します。
　　カバーの取り外し方などは、各コンピュータの取り扱い説明書を参照して下さい。
　　空いている PCI 拡張スロットのバックプレートを取り外します。

３．本アダプタを注意深く拡張スロットに挿入して、エンドプレートを本体にねじ止めします。

４．本アダプタに外付けボックスを取り付けます。

⚠注意　外付けボックスは、コンピュータに電源が入っている状態での取り付けや取り外しを行った場合、障害が発生する場合がありますので、絶対に行わないで下さい。

2.2 GP5-162 カードの設定

PCI バスを持つコンピュータの場合、そのほとんどが PnP（プラグ&プレイ）に対応しており、PnP 対応のアダプタがインストールされた場合、自動的にリソースを割り当て、システムに登録します。本アダプタは、PnP 対応ボードであるため、通常自動登録されますので、リソースの割り当てを行う必要はありません。

しかし、使用するコンピュータによっては PCI スロット毎に BIOS での手動設定が必要な場合等もありますので、使用するコンピュータの取扱説明書をあわせてお読み下さい。

第３章　Windows NT

3.1 概要

Windows NT デバイスドライバは、Windows NT 環境においてリモートアクセスサービス(RAS)などの各種通信アプリケーションをサポートします。

サポート OS

Windows NT デバイスドライバソフトウェアは以下の OS をサポートします。

- Microsoft® Windows NT® Server Version4.0

3.2 インストレーション

ハードウェアのインストール

デバイスドライバをインストールする前に、ユーザーガイド第２章「ハードウェアのセットアップ」に従って、ハードウェアがセットアップされていなければなりません。

ソフトウェアのインストール

１．コントロールパネルの[ネットワーク]をダブルクリックして、[ネットワーク]ダイアログボックスを開きます。

〈アダプタ〉タブを表示して〈追加〉ボタンをクリックします。

《注意》

ネットワークの設定を行うには Administrator グループのメンバーとしてログオンしている必要があります。

２．[ネットワークアダプタの選択]ダイアログボックスで、＜ディスク使用＞をクリックし、添付 FD（「GP5-162 Driver (Windows NT®) DISK1」）の使用するマシンの CPU に合ったドライバの納められているディレクトリを指定し、〈OK〉をクリックします。（ 例：Intel の CPU の場合「A:¥i386」を指定。）

３．[OEM オプションの選択]ダイアログボックスで、一覧よりインストールするアダプタを選択します。
本アダプタに対応するネットワークアダプタカードの種類は次の通りです。

Digi AccelePort 8r 920 (PCI) Adapter

４．[OEM オプションの選択]ダイアログボックスで、Windows NT デバイスドライバを選択し、〈OK〉をクリックすると、ドライバファイルがコンピュータにコピーされます。

５．全ての設定が終われば、インストールされたアダプタのポートの設定情報が表示されます。
必要に応じて、ダイアログ下部のボタンを使用し、ポート名やポートに対する詳細設定を行ないます。

６．全ての設定が終わったら、〈OK〉をクリックし、Windows NT を再起動します。
Windows NT の再起動後、設定したポートを使用することが可能です。

3.3 シリアルポートの設定

本アダプタの各シリアルポートは、コマンドプロンプトで MODE コマンドを実行してボーレート、データ長、パリティ等の各種パラメータを設定することができますが、基本的にはシリアルポートを使用するアプリケーションによって設定されるため、MODE コマンドを使用する必要はありません。

コンピュータをリブートすると、設定は Windows NT デバイスドライバの初期値に初期化されます。

コンピュータ起動時に設定の変更を行いたい場合、バッチファイルに MODE コマンドを記述して、[スタートアップ]に登録して下さい。

3.4 アプリケーションの開発

Windows NT デバイスドライバは Win32 API のコミュニケーション関数をサポートしており、専用の API はありません。

通常、シリアルポートを使用する Windows アプリケーションは Win32 API のコミュニケーション関数を使用して作成されているので、アプリケーション上で使用するシリアルポートを変更するだけで、本アダプタ上のシリアルポートを使用することができます。ただし、ハードウェアの動作タイミング等の違いでシリアルポートを変更するだけでは動作しない場合もありますのでご注意下さい。

Win32 API のコミュニケーション関数の詳細については、Win32 SDK や VC++などのドキュメントを参照してください。

また、COM10 以上のシリアルポートは次の構文によって参照されますので、ご注意下さい。

¥¥.¥COMn　(n は数字)

3.5 リモートアクセスサービス(RAS)の設定

インストール

1．コントロールパネルの［ネットワーク］をダブルクリックして、［ネットワーク］ダイアログボックスを開きます。

〈サービス〉タブを表示して〈追加〉ボタンをクリックします。

2．[ネットワークサービス]一覧より[リモートアクセスサービス]を選択して、〈OK〉ボタンをクリックします。

3．[Windows NT セットアップ]ダイアログボックスに Windows NT 配布ファイル(CD-ROM または FD)へのフルパスを入力して、〈続行〉ボタンをクリックすると、リモートアクセスサービスのファイルがコンピュータにコピーされます。

ポートの追加

［リモートアクセスセットアップ］ダイアログボックスで〈追加〉ボタンをクリックして、［ＲＡＳデバイスの追加］ダイアログボックスでモデムのインストールを行います。

1．〈モデムのインストール〉ボタンをクリックして、設定を行います。
2．モデムの設定が完了すると、［リモート アクセス セットアップ］ダイアログボックスにポートが追加されます。
3．複数のポートを使用する場合、ポートの追加を繰り返します。

《注意》

モデムの種類によっては正しく検出できない場合がありますので、一覧でモデムを選択する事をお奨めします。

ポートの構成

［リモート アクセス セットアップ］ダイアログボックスでポートを選択して、〈構成〉ボタンをクリックすると、［ポートの構成］ダイアログボックスが表示されます。
［ポートの使用法］グループボックスでポートの使用方法を選択して下さい。

ネットワークの構成

［リモート アクセス セットアップ］ダイアログボックスで〈ネットワーク〉ボタンをクリックして、［ネットワークの構成］ダイアログボックスでリモートアクセスサービスで使用するネットワークプロトコルを選択して下さい。
リモートアクセスソフトウェアの組込みやリモートアクセスサービス(RAS)の詳細については、[Windows NT セットアップガイド]またはオンラインヘルプを参照して下さい。
設定終了後、［ネットワークの設定］を終了して、コンピュータを再立ち上げして下さい。
インストールが正常に行われていない場合、イベントビューアにエラーが表示されますので、再度インストールの設定を確認して下さい。

第４章　Novell NetWare

4.1 概要

Novell NetWare AIO デバイスドライバは、Novell NetWare 環境において NetWare Connect をはじめとする AIO(Asynchronous Input/Output)仕様の各種アプリケーションをサポートします。

サポート OS

Novell NetWare AIO デバイスドライバソフトウェアは以下の OS をサポートします。

- Novell® NetWare® 3.12J
- Novell® NetWare® 4.1J
- Novell® IntranetWare™

4.2 インストレーション

ハードウェアのインストール

デバイスドライバをインストールする前に、第２章「ハードウェアのセットアップ」に従って、ハードウェアがセットアップされていなければなりません。

ファイルのコピー

添付のＦＤ（「GP5-162 Driver(NetWare®) DISK2」）を挿入して、フロッピーディスクにある全てのファイル(Novell NetWare AIOデバイスドライバ関連ファイル)をNetWareサーバのシステムディレクトリ（SYS:SYSTEM）にコピーします。

《注意》

- NetWare Connect などの AIO アプリケーションには Digi Novell NetWare AIOデバイスドライバが含まれている場合がありますが、製品添付の最新のデバイスドライバを使用して下さい。
- デバイスドライバファイルを上書きコピーする場合、AIO アプリケーションに含まれている Novell NetWare AIO デバイスドライバファイルの属性が読み込み専用に　なっている場合がありますので、属性を書き込み可能に変更して下さい。
- Novell NetWare AIO デバイスドライバをインストールした後にAIOアプリケーションをインストールすると、Novell NetWare AIOデバイスドライバがAIOアプリケーションに添付されている古いバージョンのものに置き換えられる場合がありますので、ご注意下さい。

4.3 ドライバのロード

Novell NetWare AIO デバイスドライバを利用するためには、NetWare サーバでドライバをロードします。
本アダプタを複数インストールする場合は、一回のドライバのロードで、全てのアダプタをサポートします。

書式

load aiodgxr [fastbaud]

fastbaud （オプションパラメータ）
このパラメータを指定すると、ボーレートリストの、300 ボーに 230.4K ボーがマッピングされ、300 ボーを指定することにより、実際には 230.4K ボーの転送が利用可能になります。

《注意》

PCI アダプタは自動的にリソースが割り振られるため、他のバスタイプ（ISA, EISA, MC）のボードをインストールする場合は、PCI アダプタより先にドライバをロードする必要があります。

第５章　Windows 2000

5.1 概要

Windows 2000 デバイスドライバは、Microsoft Windows 2000 環境において各種通信アプリケーションをサポートします。

サポート OS

Windows 2000 デバイスドライバソフトウェアは以下の OS をサポートします。

- Microsoft® Windows® 2000 Server

5.2 インストレーション

ハードウェアのインストール

デバイスドライバをインストールする前に、ユーザーガイド第２章「ハードウェアのセットアップ」に従って、ハードウェアがセットアップされていなければなりません。

《注意》

設定を行うには Administrator グループのメンバーとしてログオンしている必要があります。

ソフトウェアのインストール

Windows 2000 のプラグ＆プレイに対応していますのでハードウェア取り付け後、マシンを起動するとボードが検出されドライバソフトウェアのインストールが開始されます。

１．マシン起動後、Windows 2000 にログインすると[新しいハードウェアが見つかりました]という画面が表示されます。

２．しばらくすると[ポートの構成]という画面が表示されますので、<次へ>をクリックします。

３．ドライバのインストールが行われます。

４．ドライバのインストールが終了したら、5.3 ドライバソフトウェアの削除を参照してドライバソフトウェアの削除を行ってください。

５．添付のＦＤ（「GP5-162 Driver(Windows® 2000) DISK3」）を挿入して、「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。

６．以下のようなコマンドを入力して<OK>をクリックします。

A:¥dgclean.cmd

７．コントロールパネルの[ハードウェアの追加と削除]を開きます。

８．<次へ>をクリックします。

９．<デバイスの追加/トラブルシューティング>を選択し、<次へ>をクリックします。

１０．［新しいハードウェアの検出ウィザード]画面で<次へ>をクリックします。

１１．<デバイスに最適なドライバを検出する(推奨)>を選択し、<次へ>をクリックします。

１２．添付のＦＤ（「GP5-162 Driver(Windows® 2000) DISK3」）を挿入して、<フロッピーディスクドライブ>にチェックを入れ、<次へ>をクリックします。

１３．<次へ>をクリックします。

１４．　ドライバのインストールが行われます。

１５．　[デジタル書名が見つかりませんでした]の画面が表示されたら、<はい>をクリックします。

１６．　[ファイルの上書き確認]の画面が表示されたら、<はい>をクリックします。

１７．　[Port Configuration]の画面が表示されたら、<次へ>をクリックします。

１８．　[ハードウェアの追加と削除ウィザード]の画面が表示されたら、<次へ>をクリックします。

１９．　<完了>をクリックします。

5.3 ドライバソフトウェアの削除

１．コントロールパネルの[ハードウェアの追加と削除]を開きます。

２．<次へ>をクリックします。

３．<デバイスの削除/取り外し>を選択し、<次へ>をクリックします。

４．<デバイスの削除>を選択し、<次へ>をクリックします。

５．デバイスの一覧が表示されますので、削除を行いたいデバイスを選択し<次へ>をクリックします。
本アダプタに対応するネットワークアダプタカードの種類は次の通りです。

Digi AccelePort 8r 920 PCI

６．<はい、このデバイスを削除します>を選択肢、<次へ>をクリックします。

７．<完了>をクリックするとデバイスの削除は終了です。

5.4 ポート特性の変更

Windows 2000 ドライバソフトウェアはかくポートごとにその特性を変更することができます。規定値（デフォルト）はモデムや ISDN ターミナルアダプタを利用したリモートアクセス用に最適化されていますが、規定値を変更することでそれぞれのアプリケーションに最適化されることができます。

1．デバイスマネージャを使用して、ボードのプロパティを表示させます。
2．「ポートの構成」を選択後、設定変更を行いたい COM ポートを選び<プロパティ>をクリックします。
3．各項目の内容については<ヘルプ>をクリックすることで確認できます。

設定例

Visual Basic で作成したアプリケーション、あるいは FAX ソフトウェア使用時のデータ送信に問題がある場合以下のように設定を変更してみてください。（規定値はリモートアクセスに最適化されていますのでリモートアクセスで使用する場合には変更する必要はありません

利用されるアプリケーション等でデータ転送時に問題が確認される場合には以下のように

・「ポートを閉じる最大タイムアウト」の値を 0
・「転送が完了したときに、書き込みを完了する」をチェックする

と設定を変更します

複数のポートで同じ設定を行う場合は<設定の複製>をクリックし、同じ設定を使用するポートを選択して<OK>をクリックします。

5.5 シリアルポートの設定

本アダプタの各シリアルポートはコマンドプロンプトで MODE コマンドを実行してボーレート、データ長、パリティ等の各種パラメータを設定することができますが、基本的にはシリアルポートを使用するアプリケーションによって設定されるため、MODE コマンドを使用する必要はありません。

コンピュータをリブートすると、設定は Windows 2000 デバイスドライバの初期値に初期化されます。

コンピュータ起動時に設定の変更を行いたい場合、バッチファイルに MODE コマンドを記述して、[スタートアップ]に登録して下さい。

5.6 アプリケーションの開発

Windows 2000 デバイスドライバは Win32 API のコミュニケーション関数をサポートしており、専用の API はありません。
通常、シリアルポートを使用する Windows アプリケーションは Win32 API のコミュニケーション関数を使用して作成されているので、アプリケーション上で使用するシリアルポートを変更するだけで、本アダプタ上のシリアルポートを使用することができます。ただし、ハードウェアの動作タイミング等の違いでシリアルポートを変更するだけでは動作しない場合もありますのでご注意下さい。
Win32 API のコミュニケーション関数の詳細については、Win32 SDK や VC++などのドキュメントを参照してください。

また、COM10 以上のシリアルポートは次の構文によって参照されますので、ご注意下さい。

¥¥.¥COMn　(n は数字)

5.7 リモートアクセスの設定

《注意》

リモートアクセスに関する設定は Administrator 権限をもったユーザで行ってください。各項目に関する情報は Windows 2000 のヘルプファイル等の資料をご覧下さい。

リモートアクセスサーバの構成

リモートアクセスサーバの設定を行う前にコントロールパネルの「電話とモデムのオプション」でソフトウェアのインストール時に追加された COM ポートにモデムをインストールしておきます。

1．「スタートメニュー」から「プログラム」---→「管理ツール」---→「サーバの構成」を選択します。ウィンドウ左側一覧の「ネットワーク」のメニューの中から「リモートアクセス」を選択します。

2．Windows 2000 のウィザードに従い、「ルーティングとリモートアクセス」を開きます。

3．「操作」メニューから「サーバの追加」を選択します。

4．「このコンピュータ」を選択し、<OK>をクリックします。

5．「操作」メニューの中から「ルーティングとリモートアクセスの構成と有効化」をクリックします。“ルーティングとリモートアクセスサーバのセットアップウィザードの開始”の画面が表示されますので<次へ>をクリックします。

6．「リモートアクセスサーバ」を選択し、<次へ>をクリックします。

7．「詳細なリモートアクセスサーバをセットアップする」を選択し、<次へ>をクリッ

クします。

８．リモートアクセスで使用するプロトコルがすべて表示されているか確認後〈次へ〉をクリックします。（必要におおじて使用するプロトコルを追加します。）

９．リモートクライアントに IP アドレスを割り当てる方法を選択し〈次へ〉をクリックします。（利用環境にあった方法を選択します。）

１０．リモートユーザの認証に RADIUS を使用しない場合はここで「いいえ」を選択し、〈次へ〉をクリックします。（利用環境にあった方法を選択します。）

１１．〈完了〉をクリックすると「ルーティングとリモートアクセス」が開始されます。

付録 A トラブルシューティング

GP5-162 に関する注意事項

システムコンフィグレーションユーティリティ（ICU,SSU など）を使用すると、本アダプタの設定が正常に更新されなくなり、本アダプタが動作しなくなる現象が確認されております。

この場合は、以下の手順に従って再インストールしていただくことにより、再度本アダプタが動作するようになります。

1．OS から本アダプタのドライバを削除する。
2．マシンの電源を切断し、本アダプタを抜き取る。
3．マシンの電源を投入し、システムコンフィグレーションユーティリティでハードウェアの設定（ボードの追加削除）を行い、設定を保存し再起動する。
4．正常に再起動されたら、電源を切断し、再度本アダプタをインストールする。（システムコンフィグレーションユーティリティは使用しない。）

PCI バスが複数あるマシンで使用する場合、バスの接続形態によっては、PCI スロットの認識番号がマシン側で重複する場合があり、複数枚の本アダプタをインストールすると、アダプタが動作しない場合があります。

Windows NT

Windows NT デバイスドライバが正常に起動されない場合、イベントビューアにエラーログが記録されます。

エラーメッセージおよび障害

ソース　　ntxem（または ntxall）
分類　　なし
イベント4098
説明　　ntxem5 のメモリにアクセスできません。デバイスが重複していないか、または無効なメモリ範囲でないか確認してください。

対策　　Windows NT デバイスドライバの設定時に指定したメモリベースアドレスがその他のボードやシステムと競合していないかどうかを確認して下さい。
Windows NT 診断プログラムで調べることができますが、マザーボード上の SCSI やビデオアダプタは検出できない事があります。
その場合、コンピュータの取り扱い説明書を参照して下さい。
また、そのメモリ領域がコンピュータの BIOS でシャドウ RAM に設定されていない事を確認して下さい。
シャドウ RAM に設定されている場合、これを解除して下さい。

ソース　　serial
分類　　なし
イベント25
説明　　パラメータ ntxall2Line1Concentrator1Port1 のユーザ構成には PortAddress が必要です。

対策　　コントロールパネルのシリアルでポートを設定しようとしたために発生します。
コマンドプロンプトでレジストリエディタ(REGEDT32.EXE)を起動して、\HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Serial\Parameters に作成されているキーおよびサブキーを削除して、コンピュータをリブートして下さい。
上記例では、ntxall2Line1Concentrator1Port1 のキーが作成されているので、これを削除してコンピュータをリブートすれば、エラーは発生しません。

障害　　本アダプタインストール後の、NT の再起動時にハングアップする。
説明　　複数の PCI デバイスをインストールした場合、メモリの重複により、本アダプタが動作しない場合がある。

対策　　NT の PCI デバイスのセットアップの問題で発生する現象。この現象が発生した場合は、以下の作業を行ってください。

1．マシンの電源を切断する。
2．本アダプタを取り除く。
3．マシンを再起動し、NT を起動する。
4．本アダプタのドライバを削除し再起動する。
5．再度本アダプタおよびドライバをインストールする。（再起動はしない。）
6．NT のレジストリエディタ（NT3.51：REGEDT32.EXE、NT4.0：REGEDIT.EXE）を起

動し、以下のキーの値を変更する。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\dgapci#\Parameters\MemoryMappedBaseAddress　（#は番号）
値のタイプ：REG_DWORD
設定可能な値：
ff800000, ff400000, ff000000, fec00000, fe800000, fe400000,
fe000000, fdc00000, fd800000, fd400000, fd000000, fcc00000,
fc800000, fc400000, fc000000, fbc00000, fb800000, fb400000
重複しないように変更後、NT を再起動する。

説明　BIOS image failed to load

対策　ドライバで設定した共有メモリアドレスに正しくアクセスできない為に発生します。
アダプタのハードウェア障害の可能性がありますので、DOS 上で(Windows の DOS プロンプトは不可)製品に添付されているユーティリティを使用して、ハードウェアの診断を行なって下さい。

障害　パフォーマンスモニタで CPU の負荷率が 100%になることがある。

対策　NT の RAS Server で着信に設定したアダプタのポートにモデムがついてない場合や、モデムの電源が入っていない場合に発生します。
モデムを接続し、モデムの電源を入れて下さい。

モデムが原因でない場合は、[ネットワーク]-[プロパティ]-[アダプタ]で Digi ドライバのポートの[Property]で、”Close Timeout”の値を”0”に各ポート変更してみて下さい。

Novell NetWare AIO ドライバをサーバのコンソールプロンプトでロードすると、通常下記ようなのメッセージが表示されます。
ドライバが正常にロードされ、アダプタの初期化が正常に実行されると、アダプタのポートが正常に初期化されたことを示すメッセージが表示されます。
以下にメッセージ例を示します。

〈メッセージ例〉

```
SERVER: LOAD AIODGXR
  ﾓｼﾞｭｰﾙ AIODGXR.NLM をﾛｰﾄﾞ中
  NetWare AIO Digi International Acceleport Xr Intelligent Driver
  ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ 1.06  1998 May 13
  Copyright 1998, Digi International, Inc. All rights reserved.
  自動ﾛｰﾄﾞﾓｼﾞｭｰﾙ AIO.NLM
  NetWare Asynchronous I/O Library IP0200.G01
  ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ 6.04  1997 June 2
  Copyright (c) 1991-1997 Novell, Inc. All rights reserved.
  自動ﾛｰﾄﾞﾓｼﾞｭｰﾙ AIODGMEM.NLM
  Digi International Memory Manager
  ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ 2.00  1995 December 21

  Serching for PCI Boards since no paramaters were found.
  PCI Board Memory Address = 0x0C7BF6000
```

エラーメッセージ

BIOS fails initialization

説明　アダプタの初期化に失敗した。
古いバージョンのドライバがロードされた場合に発生します。

対策　AIO ドライバのバージョンを確認して、製品に添付されている最新のドライバをロードして下さい。

Loader cannot find public symbol: CYieldIfneeded Load file referenced undefined public variable.
Loader cannot find public symbol: Cyieldwithdelay load file referenced undefined public variable.

説明　AIO ドライバロード時に必要な変数が定義されていない。

対策　AIO ドライバをロードする前に、次のモジュールをロードして下さい。
AFTER311.NLM, A3112.NLM
上記ファイルのバージョンが古いことも考えられますので、Novell よりモジュールのアップデート版(最新版)を入手して下さい。

Loader cannot find public symbol: AIORegisterDriverA load file referenced undefined public variable.

説明　AIO ドライバロード時に必要な変数が定義されていない。

対策　“AIO.NLM”が古いバージョンのものです。Novell より最新版の”AIO.NLM”を入
手して下さい。

Loader cannot find public symbol: MSMReadPhysicalMemory load file referenced undefined public variable.

説明　AIO ドライバロード時に必要な変数が定義されていない。

対策　AIO ドライバをロードする前に、次のモジュールをロードして下さい。MSM.NLM
上記ファイルのバージョンが古いことも考えられますので、Novell よりモジュールのアップデート版(最新版)を入手して下さい。

AIODGXR Xr PCI support has already been loaded.

説明　PCI アダプタ用ドライバはすでにロードされている。

対策　AIO ドライバは、同じ PCI アダプタは、ドライバを一度ロードするだけで、全て使用可能になります。複数同じ PCI アダプタをインストールする場合でも、一度しかドライバ（PCI 用の設定）をロードする必要はありません。

No usable PCI boards found.

説明　PCI アダプタが見つからない。

対策　AIO ドライバロード時に、ドライバに適合する PCI アダプタが見つからない。使用した AIO ドライバが間違っているか、ハードウェア設定の問題または、PCI アダプタの障害の何れかと思われます。AIO ドライバの種類、マシンのコンフィグレーション、PCI アダプタの障害の有無を確認してください。

付録Ｂカードのテスト

添付のフロッピーディスクの診断ソフトウェアを使用すると、本カードのハードウェアに問題がないかを調べることができます。本カードの取付け後に診断テストを実行することをお勧めします。また、診断結果を利用すれば、トラブルシューティング時に問題の切り分けをすることもできます。

1. はじめる前に
   テストを行う前に、電源を切断しボックスケーブルに接続しているモデム、ＴＡ等の機器を外して下さい。

2. 前準備
   本テストプログラムは、プログラムの起動時にテストプログラムの情報を記録します。従って、以下の操作を行い診断用のディスクを作成して下さい。

   ・ 空のフロッピーディスクを１枚用意して下さい。
   ・ フロッピーディスクをフォーマットします。
   ・ 本製品添付の『GP5-162 Driver（Windows NTR）Disk 1』Diags 以下をすべてコピーします。（ディスク全体コピーでも可。）

3. システムの起動。
   本体添付のフロッピーディスクまたは、ＣＤ－ＲＯＭ等によりＭＳ－ＤＯＳシステムを起動します。

《注意》

- カードのテストプログラムは、Windows NT の MS-DOS プロンプトでは使用できません。テストプログラムを使用する際は、本体添付のフロッピーディスクまたは、ＣＤ－ＲＯＭ等によりＭＳ－ＤＯＳシステムを起動して下さい。

- 診断用ディスクは書き込み可能な状態で使用して下さい。

4. テストプログラムの起動。
   サーバを起動した後、２で作成した診断用ディスクをドライブに挿入し、そのドライブに切り換えてから、コマンドプロンプトで次のように入力します。（以下は、ディスクドライブがＡドライブの場合の例を記述します。）

```
A：¥>cd ¥diags¥pci
A：¥DIAGS¥PCI>ud－pci．exe
```

   テストプログラム起動後、画面の下に以下のメッセージが出力されますので、＜Ｅｓｃ＞以外のキーを押して下さい。

```
Press any key to proceed, or <Esc> to exit.
```

5. アダプタ種別の選択。
次に、テストを行うアダプタの選択画面が表示されます。ここでは、Xr シリーズを選択して下さい。

```
Select PCI product Family. Depress <F1> for help or <Esc> to exit.
A)EPC/X  B)Xr  C)Xem  D)C/X  E)SyncPort  F)DataFire PRIme
```

上記例では、Bを入力して下さい。画面については変更される場合もあります。
画面の指示に従いＸｒシリーズを選択して下さい。

6. 複数実装時のアダプタの選択。
アダプタが複数実装されている場合は、テストを行うアダプタを選択します。
アダプタが１枚の場合は省略されるため、次の項目へ進んで下さい。
カードが２枚の場合の例は以下。

```
Select adapter number between 1 & 2:
```

１または２を入力して下さい。

7. テストの開始。
Ｒと入力するとテストを開始します。

```
Select parameter(s),Press <R> to Run, <F1>for help,or <Esc> to exit.
```

8. テストの終了
右下にテストのループ回数が表示され１以上となった場合は正常動作です。
異常時にはディスプレイに赤字でエラー内容が表示されます。

どれかキーを押すとテストを終了します。

PRIMERGY

RS232C カード（GP5-162）

B7FY-0831-01-00

発 行 日　2003 年 1 月

発行責任　富 士 通 株 式 会 社

Printed in Japan

●本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。
●落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

Ⓟ 0301-1

FUJITSU

このマニュアルは再生紙を使用しています。